

韓国との経済交流 ～北陸（日本）・経済交流会議について～

北陸 AJEC 業務課長
平陽一郎

韓国との経済交流について、当会で例年開催している「北陸（日本）・韓国経済交流会議」を中心に説明する。

①北陸（日本）・韓国経済交流会議

北陸経済連合会・北陸 AJEC では、例年、韓国産業通商資源部傘下の韓日経済協会と連携し、北陸 3 県（富山、石川、福井）と韓国日本海側 4 地域（江原道、慶尚北道、大邱広域市、蔚山広域市）とで「北陸（日本）・韓国経済交流会議」を開催している。これは平成 11 年、小淵恵三総理と金大中大統領との間で合意がなされた「日韓経済アジェンダ 21」を受け、中部経済産業局が開催、平成 22 年、第 11 回会議以降当会が事務局として実施しているものである。

②これまでの北陸（日本）・韓国経済交流会議について

第 1 回会議は富山市で開催され、以降、北陸と韓国交互にて開催している。

直近の第 18 回会議は、韓国 慶尚北道 安東（アンドン）市にて執り行われ、日本側 52 名、韓国側 120 名、計 172 名が参加した。

今年度の会議では少子高齢化、大都市への人口流出、地方の産業振興などを日韓の共通の問題とし、「共通課題解決に向けた日韓地方間の協力」をメインテーマとした。会議は全体会議と 3 つの分科会で構成され、分科会は自治体分科会、イノベーション分科会、ビジネス分科会とした。全体会議では、メインテーマについて日韓両国からの発表を行った。自治体分科会では、日韓両自治体より地域活性化施策について、イノベーション分科会ではイノベーション事例について発表を行った。また、ビジネス分科会では、ビジネスマッチングを行い、日本側 6 社、韓国側 16 社、商談件数 32 件となった。

③北陸（日本）・韓国経済交流会議の成果

本会議を通じていくつかの成果が報告されている。

- ・（有）ほっとリハビリシステム…韓国現地法人設立
- ・金沢工業大学…韓国国内ロボティクス学科のある大学の工学設計教育センターとの連携
- ・(株)ホスピタブル（韓国人材紹介業）との連携
- ・韓国交通研究院との意見交換会（新幹線効果について）
- ・光陽湾圏経済自由区域庁の説明会アレンジ
- ・韓国人留学生との交流…各種交流会や懇親会へご招待

④来年度開催について

来年度は福井県での開催を予定している。詳細な内容は今後韓国側と相談し、決めていく。

⑤今後の経済交流について

再来年度は第 20 回の節目となる。それ以降の北陸（日本）・韓国経済交流会議については、関係機関と相談し、方向性を決めていきたい。

日韓関係や、北朝鮮問題など両国の間には諸問題が存在するが、貿易輸出入や企業の海外進出先として

常に上位に位置する重要な国である。今後も地域間交流の経済交流発展に取り組んでいく。